

慶應義塾大学薬学部 薬物治療学講座教授（講座主任）の公募

慶應義塾大学薬学部では、以下のように薬物治療学講座教授（講座主任）の公募選考を行います。

本学部は、6年制薬学科では「科学の基盤をもち、医療人としての自覚のもと、高い臨床能力を発揮できる、人に優しい薬剤師の育成」を目的としています。また、4年制薬科学科では「創薬、臨床開発、環境・生命科学などの幅広い分野における科学者の育成」を目的としています。

1. 公募人員および講座の概要

教授1名を公募します。講座定員は3名で、現在、准教授1名、専任講師1名が在籍中です。

2. 採用予定日

2020年4月1日（着任）

3. 応募要件

以下の要件を満たす方を公募します。

- 1) 頭記の薬学部の目的をふまえて、薬学部の学生および大学院薬学研究科の大学院生の教育・研究指導に熱意を持ってあたっていただける方。
- 2) 薬物治療学に関連する領域で優れた研究や社会的活動の実績があり、今後も当該領域を国際的にリードする研究を展開できる方。
- 3) 本学、ならびに本学部・研究科の運営にご協力頂ける方。
- 4) 着任後も医師として診療活動を続け、その経験を本学部における教育等に活かせる方。

4. 応募資格

- 1) 博士の学位を有すること。
- 2) 医師の免許を有すること。
- 3) 医師としての診療経験を有すること。

5. 担当分野

- 1) 教育：学部では、「薬学教育モデル・コアカリキュラム平成25年度改訂版」の下記の領域とそれらのアドバンスト分野およびその関連分野の講義、演習、学生実習（実務実習事前学習）、卒業研究の指導。

- ・E2 薬理・病態・薬物治療(1)～(7)のうち、主として病態および治療にかかわる部分
- ・F 薬学臨床（実務実習事前学習）の一部
- ・その他の医療系薬学のうち、病態および薬物治療にかかわる領域の一部

大学院では、専門分野の講義、演習、研究指導。

なお、教育業務は、必要に応じて他の教員と協力し、分担して担当して頂きます。

- 2) 研究：薬物治療学に関連する領域で、社会に貢献し、かつ国際的に高く評価される先導的研究。

6. 提出書類

以下の書類を A4 版（レター版も可）両面で作成し、原本 1 部、写し 5 部をご提出ください。

- 1) 履歴書（書式自由。写真貼付、医籍登録番号記載）
- 2) 研究・業績目録（別添様式を参照）
- 3) これまでの研究の概要と着任後の研究に対する抱負（2,000 字程度）
- 4) これまでの教育の実績と着任後の教育に対する抱負（2,000 字程度）
- 5) 外部資金獲得状況（研究費の種類、代表と分担の別、研究課題、受領期間、金額等を記載）
- 6) 照会者（応募者について意見を求めることのできる方）2 名の氏名、連絡先
- 7) 主要原著論文 5 編の別刷（コピー可）

7. 応募方法

6. の書類を「薬物治療学教授応募書類在中」と朱書した封筒に入れ、書留郵便にて下記に送付して下さい。

- 応募書類送付先

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

慶應義塾大学薬学部総務課 薬物治療学講座 教員公募係

8. 応募締切

2019 年 8 月 30 日（金）（必着）

9. 問合せ先

慶應義塾大学薬学部 薬物治療学講座 主任教授推薦委員会

委員長 大谷 壽一（臨床薬物動態学講座 教授）

e-mail: ohtani-hs@pha.keio.ac.jp

10. その他

- 1) プレゼンテーションや面接のために来学いただくことがあります。なおその際の交通費等は支弁いたしません。
- 2) 慶應義塾大学薬学部は現在任期制（5 年契約・再任可）を採用しています。
- 3) 応募書類は返却いたしません。
応募書類は、本選考の目的に限って使用します。
選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、責任をもって廃棄します。
- 4) 慶應義塾大学薬学部については、<http://www.pha.keio.ac.jp/> をご参照ください。

研究・業績目録(例)

原著 (学術論文については、掲載誌の最新の **impact factor** を記載)

番号. 著者、
題目
誌名、巻、始ページ-終ページ、年

総説

番号. 著者、
題目
誌名、巻、始ページ-終ページ、年

著書

番号. 著者、
題目
誌名、巻、始ページ-終ページ、年

その他 (学会等における招待講演、特許等)

番号. 講演者、申請者等
題目
学会名、特許番号、年等

[業績目録作成上の注意事項]

1. 原著、総説、著書、その他に分けて、発表(発行)の新しい年月日順に記載し、その他の項目の最後には学位論文の論文題目を記載する。
2. 共著の場合は全員の氏名を記載し、応募者の氏名にアンダーラインを付ける。
3. 欧文論文は欧文で、和文論文は和文で記載する。
4. 印刷中のものは受理を証明する書類等のコピーがあればそれを付して記載する。(投稿中のものは記載しない)
5. 主要論文別刷として提出した5編には、○を付ける。
6. 最下段中央にページ番号を付す。
7. 論文リストの形式については、必要事項が記入されていれば必ずしもこの書式と完全に一致しなくても構いません。